

教育委員会

学校教育部

- 1 基本理念 子どもの夢と未来が輝くまち さんだ
- 2 めざす子ども像 自分が好き、人が好き、このまちが好き、
夢に向かって歩むさんだっ子
- 3 基本目標
 - (1) 未来を創造し、心豊かに生きる子どもの育成に取り組みます
 - (2) 安全・安心で魅力ある学校づくりを推進します
 - (3) 人をつなぎ、まち（地域）全体で子どもの学びと成長を支えます
- 4 施策の内容
 - (1) 変化の激しい時代を生き抜く力を育む教育の推進
 - ア 社会的自立に向けたキャリア教育の推進
 - イ グローバル化に対応した教育の推進
 - (2) 幼児期の教育の充実
 - ア 自立と協同の態度を育む幼児教育の推進
 - イ 幼児教育に関する多様なニーズへの対応
 - (3) 「確かな学力」の育成
 - ア 主体的に学ぶ子どもの育成
 - イ 育ちと学びをつなぐ教育の推進
 - (4) 「豊かな心」の育成
 - ア 規範意識や道徳性を育む教育の推進
 - イ 「共生」の心を育む教育の充実
 - ウ 豊かな人間性と社会性を育む体験活動の充実
 - (5) 「健やかな体」の育成
 - ア 体力向上の取組の**充実**
 - イ 食育・健康教育・安全教育の充実
 - (6) 一人一人が大切にされる教育・支援の充実
 - ア 特別支援教育の**充実**
 - イ 児童生徒への支援・相談体制の充実
 - ウ 教育の機会均等の確保と保護者負担の軽減
 - (7) 信頼される学校づくりの推進
 - ア 学校組織力の向上
 - イ 教職員の資質向上
 - (8) 教育環境の整備・充実
 - ア 時代の変化に対応した教育環境整備
 - イ 学校施設等の整備・充実、安全体制の確保
 - ウ 教職員が子ども一人一人に向き合うための環境整備

- (9) 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりの推進
 - ア 学校・家庭・地域の連携と協働による育成活動の推進
 - イ 家庭・地域の教育支援
- (10) 「学び」が活かせる環境づくりの推進
 - ア 学習成果を活かす仕組みづくりの推進
 - イ 多様な学習資源の活用

教育総務課

1 教育委員会

- (1) 開催状況 (令和3年4月～令和4年3月)
定例会 12回 臨時会 1回 協議会 6回
- (2) 議案の提出状況 32件 (予算・条例・規則・その他)
- (3) 規則および告示

区分	規則・規程	告示	訓令
件数	3件	15件	1件

2 メールカー運行業務

平成4年度から教育委員会事務局と学校その他教育機関と文書等の集配業務を委託し実施している。

- (1) 委託費 341,572円 (阪神教育事務所)
※市内メールカーについては、令和元年度から直営による運行。
- (2) 運行箇所
 - ア 市内公立小学校、中学校、幼稚園、保育園及びその他教育機関
計44箇所
 - イ 阪神教育事務所 (西宮) 1箇所
- (3) 運行回数
毎週月曜日から金曜日まで1日1回週5回運行
但し、祝日、8月13日～15日及び12月29日～1月3日は除く。

3 学校管理運営費の執行状況 (人件費を含み施設工事・営繕を除く)

区分	決算額 (千円)		摘要
小学校20校	419,142	218,263	管理費 (消耗品、光熱水費、教材備品、図書費等)
		200,879	人件費 (報酬、職員手当等、共済費、旅費)
中学校8校	158,306	101,028	管理費 (消耗品、光熱水費、教材備品、図書費等)

		57,278	人件費（報酬、職員手当等、共済費、旅費）
特別支援学校 1校	27,554	6,895	管理費（消耗品、光熱水費等、教材備品、図書費等）
		20,659	人件費（報酬、職員手当等、共済費、旅費）

4 市費負担職員に関すること

(1) 職員数（令和3年5月1日現在）

（単位：人）

区 分	正規職員	再任用職員	任期付職員	会計年度任用職員	合 計
事務局・教育機関	56	2	1	83	142
小・中学校	6	4	0	197	207
合 計	62	6	1	280	349

5 県費負担教職員に関すること

(1) 職員数（令和3年4月9日現在）

ア 小学校

（単位：人）

学 校 名	教 職 員 数	学 校 名	教 職 員 数
三田小学校	41	松が丘小学校	14
三輪小学校	23	すずかけ台小学校	22
志手原小学校	12	狭間小学校	16
藍小学校	14	富士小学校	23
本庄小学校	12	あかしあ台小学校	32
広野小学校	16	弥生小学校	13
小野小学校	11	つつじが丘小学校	14
高平小学校	14	けやき台小学校	43
母子小学校	9	学園小学校	16
武庫小学校	31	ゆりのき台小学校	53
		小学校合計	429

イ 中学校

（単位：人）

学 校 名	教 職 員 数	学 校 名	教 職 員 数
長坂中学校	15	けやき台中学校	34
上野台中学校	17	富士中学校	23
狭間中学校	28	藍中学校	20
八景中学校	38	ゆりのき台中学校	37
		中学校合計	212

ウ 特別支援学校

(単位：人)

学 校 名	教 職 員 数		教 職 員 数
ひまわり特別支援学校	27	特別支援学校合計	27

6 学校施設等の概要

(1) 敷地及び校舎の面積（令和4年4月1日現在）

ア 小学校

(単位：㎡)

校 園 名	敷 地 面 積 (㎡)	校 舎 面 積 (㎡)		
		鉄 筋 鉄 骨	木 造	計
三 田 小 学 校	16,751	6,180		6,180
三 輪 小 学 校	13,157	4,736		4,736
志 手 原 小 学 校	16,367	2,255		2,255
藍 小 学 校	18,194	2,978		2,978
本 庄 小 学 校	15,030	2,517		2,517
広 野 小 学 校	14,185	4,468		4,468
小 野 小 学 校	20,016	2,537		2,537
高 平 小 学 校	15,909	3,019		3,019
母 子 小 学 校	9,293	1,271		1,271
武 庫 小 学 校	23,006	6,123		6,123
松 が 丘 小 学 校	23,112	4,084		4,084
す ず かけ 台 小 学 校	31,902	5,770		5,770
狭 間 小 学 校	27,556	5,980		5,980
富 士 小 学 校	29,484	4,536		4,536
あ かし あ 台 小 学 校	30,655	6,418		6,418
弥 生 小 学 校	26,674	5,199		5,199
つ つ じ が 丘 小 学 校	27,620	7,721		7,721
け や き 台 小 学 校	27,728	5,988		5,988
学 園 小 学 校	22,268	758	3,455	4,213
ゆ り の き 台 小 学 校	27,840	7,143		7,143
小 学 校 合 計	436,747	89,681	3,455	93,136

イ 中学校

(単位：㎡)

校 園 名	敷 地 面 積 (㎡)	校 舎 面 積 (㎡)		
		鉄 筋 鉄 骨	木 造	計
長 坂 中 学 校	30,410	3,963		3,963
上 野 台 中 学 校	24,129	3,988		3,988
狭 間 中 学 校	30,692	6,360		6,360
八 景 中 学 校	36,660	5,953	33	5,986

けやき台中学校	29,921	6,103		6,103
富士中学校	31,403	4,538		4,538
藍中学校	31,067	5,607		5,607
ゆりのき台中学校	40,777	7,508		7,508
中学校合計	255,059	44,020	33	44,053

ウ 特別支援学校

(単位：㎡)

校 園 名	敷 地 面 積 (㎡)	校 舎 面 積 (㎡)		
		鉄筋鉄骨	木 造	計
ひまわり特別支援学校 (小学部)	—	849		849
ひまわり特別支援学校 (中・高等部)	—	1,337		1,337
特別支援学校合計	—	2,186		2,186

※敷地面積は、小学部は富士小学校と、中・高等部は富士中学校と共有

(2) 屋内運動場建築面積及びプール面積

ア 小学校

(単位：㎡)

学 校 名	屋内運動場 (㎡)	プール面積 (㎡)	備 考
三田小学校	919	375	低学年プール有
三輪小学校	919	375	低学年プール有
志手原小学校	793	375	低学年プール有
藍小学校	680	375	低学年プール有
本庄小学校	792	375	低学年プール有
広野小学校	906	298	低学年プール有
小野小学校	797	284	低学年プール有
高平小学校	919	299	低学年プール有
母子小学校	794	180	低学年プール有
武庫小学校	934	375	低学年プール有
松が丘小学校	913	375	低学年プール有
すずかけ台小学校	877	375	低学年プール有
狭間小学校	928	375	低学年プール有
富士小学校	919	375	低学年プール有
あかしあ台小学校	1,049	375	低学年プール有
弥生小学校	955	375	低学年プール有
つつじが丘小学校	1,023	375	低学年プール有
けやき台小学校	1,023	375	低学年プール有
学園小学校	919	375	低学年プール有
ゆりのき台小学校	1,181	375	低学年プール有
小学校合計	18,240	7,061	

イ 中学校

(単位：㎡)

学 校 名	屋内運動場 (㎡)	武道場 (㎡)	プール面積 (㎡)	備 考
長 坂 中 学 校	978	197	325	
上 野 台 中 学 校	981	200	325	
狭 間 中 学 校	1,024	200	325	
八 景 中 学 校	1,034	200	325	
けやき台中学校	1,145	197	325	
富 士 中 学 校	1,222	199	325	
藍 中 学 校	1,102	196	325	
ゆりのき台中学校	1,222	200	325	
中 学 校 合 計	8,708	1,589	2,600	

(3) 教育施設の整備状況 (主なもの) (令和3年度)

事 業 名	概 要
学園小学校劣化箇所等修繕工事(Ⅱ期)	屋根、天井等の劣化箇所の修繕及び照明設備・トイレの改修工事
すずかけ台小学校劣化箇所等修繕工事	屋根、天井等の劣化箇所の修繕及びトイレの改修工事
けやき台中学校大規模改修工事	外装、内装、電気・機械設備等の改修工事
小学校照明設備改修工事	市内小学校(5校)の校舎の照明設備改修工事

学校教育課

1 学校運営にかかる指導・助言に関すること

(1) 校長会

教育長を中心に、緊急かつ重要な問題の協議及び通知通達の指導を行う。また、小・中・特別支援学校教頭会において連絡協議を行う。

校長会 12回実施（毎月）

教頭会 1回実施（4月）

(2) 資質向上事業

学校教育において、本市の実態に応じた実践を進めるため研修機会を提供し教職員の資質向上を図る。

研修等

研修・講座名	年間 実施回数	のべ 参加者数
学校園所連携推進に係る連絡会	1回	83名
国際理解教育担当者研修会	1回	29名
人権教育担当者研修会	1回	64名
教育相談担当者・子どものサポーター研修会	1回	31名
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、合同研修会	1回	22名

(3) 研修事業補助

ア 小学校

学年別人権研修会

イ 中学校

生徒指導研修

2 教育内容に関すること

(1) あすなろ教室

不登校児童生徒に対する社会的自立のための支援

開設時間：午前9時～午後5時（月曜日～金曜日）

開設場所：三田市相生町26番15号

通級児童生徒数：18名

臨床心理士によるカウンセリングの実施 週2回（カウンセラー2名）

カウンセリング相談件数・相談者数 152件・279名／年（延べ）

(2) スクールカウンセラー

児童生徒の問題行動等の解決に資するため、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する「スクールカウンセラー」を全中学校及び小学校9校、特別支援学校1校に配置。

配置状況：年間15回（1日6時間）小学校1校、特別支援学校1校

年間20回（1日6時間）小学校1校

年間25回（1日6時間）小学校1校

年間30回（1日6時間）小学校1校

年間35回（1日6時間）中学校8校、小学校5校

相談件数：4534件／年（延べ）

研修会・講演会実施回数：38回／年

(3) トライやる・ウィーク推進事業

地域や自然の中で様々な体験活動を実施することにより、地域に学び、自分を見つめ、他人を思いやる心情を育てると共に、自律性を高め「生きる力」を育む。

※ 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大を防止するため、事業所での活動は行わず、各校の実情に合わせて5日で実施。

実施校名	実施日	実施内容
長坂中学校	6/29、30、 10/21、22、12/2	校区小学校でのプール清掃活動 講師による職業講話と体験活動 防災体験を通じた防災啓発活動 福祉事業所へ寄贈用雑巾制作活動
上野台中学校	7/19、9/22、24、 11/12、15	校区小学校でのプール清掃活動 校内での地域活性化活動 地域施設での地域貢献活動 地域施設での地域体験活動
狭間中学校	7/8、10/22、 12/9、3/17、24	校区小学校でのプール清掃活動 講師を招聘した職業講話及び体験活動 伝統文化芸術体験活動 地域清掃活動
八景中学校	7/7、10/7、11/30、 12/1、2、9、1/12	地域魅力調べ及び発表 施設での体験活動、マナー実習活動、 創作書道体験、 講師を招聘した職業講話及び体験活動
けやき台中学校	11/2、4、5、8、11	講師を招聘した職業講話及び体験活動 地域清掃活動 伝統文化芸術活動
富士中学校	11/9、10、11、12、17	講師を招聘した職業講話及び体験活動 施設での講話及び体験活動
藍中学校	6/23、7/9、9/24、 10/19、11/2	校区内小学校でのプール清掃活動 地域での農業体験及び畜産体験活動 校区内での清掃活動 講師を招聘した職業講話及び体験活動
ゆりのき台中学校	7/7、10/13、20、 11/10、12/1	講師を招聘した職業講話及び体験活動 職業インタビューからの生き方探し 地域ボランティアを活用した地域学習 と交流活動
ひまわり特別支援学校	実施なし	該当生徒がいないため実施なし

(4) 学校元気アップ共育事業

各学校が教育目標の実現をめざすため、地域人材や外部人材を活用した農業体験や福祉体験、芸術文化体験などの体験活動や言語活動、環境学習などを充実したり、オープンスクールや情報発信することで、活力にあふれた地域に信頼される学校づくりを推進する。

【オープンスクール開催回数】

小学校116回、中学校30回、特別支援学校8回

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため規模、回数を減らすとともに、参

加者の制限を設定して実施。

(5) コミュニティ・スクール推進事業

三田型コミュニティ・スクールを推進し、学校の運営に保護者、地域住民が参画できる仕組みづくりを進める。令和3年度に全29校で実施。

【設置年度】平成25年度：ゆりのき台小

平成26年度：三田小、長坂中

平成27年度：武庫小、弥生小

平成28年度：あかしあ台小、けやき台中

平成29年度：高平小、狭間小、すずかけ台小、学園小、富士中

平成30年度：母子小、つつじが丘小、狭間中

令和元年度：三輪小、小野小、松が丘小、富士小、けやき台小、上野台中、八景中

令和2年度：藍中、ゆりのき台中、藍小、ひまわり特別支援学校

令和3年度：広野小、本庄小、志手原小

(6) 学校評議員制度

令和3年度、三田型コミュニティ・スクール実施に伴う学校地域運営協議会設置により、学校評議員制度は廃止。

(7) 生徒指導対策事業

いじめ、不登校、問題行動等生徒指導上の課題を解決していくため、学校の組織体制づくり、研修等を実施する。また、スクールカウンセラーや福祉の視点でサポートするスクールソーシャルワーカー等の配置など、児童生徒や保護者の相談・支援体制をつくる。

ア 「三田市いじめ防止基本方針」及び各学校における「学校いじめ防止基本方針」の推進

イ 「三田市いじめ問題対策連絡協議会」及び「三田市いじめ問題対策ネットワーク会議」の開催

ウ 「いじめに関する生活アンケート」の実施（各学期1回）

エ 各学校の「生徒指導委員会」「学校いじめ対応チーム」による組織的な対応

オ 「学校問題サポートチーム（市教育委員会指導主事）」の派遣（いじめ問題に関する校内研修の実施）

(8) 中学校部活動の振興

生徒の健全育成を図るため、部活動を学校教育の一部と位置づけ振興する。

部活動振興補助、中学校体育連盟分担金、音楽連盟負担金

3 在日外国人学校就学補助金

三田市内に居住し、在日外国人学校の初級・中級学校に在籍する児童及び生徒の保護者の経済的負担を軽減し、教育の機会均等を図る。

区 分	児童生徒数	保護者への支給額
在日外国人学校就学補助金	0人	0円

4 附属機関等に関すること

(1) 三田市在住外国人教育推進委員会

「三田市在住外国人教育基本方針」の実施について検証し提言する。

※ 令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面に

よる開催

(2) 三田市不登校等に関する支援の在り方検討委員会

不登校児童生徒の総合的な研究、検討ならびに直接的な指導の在り方等について研究を推進する。(2回開催のうち、1回は書面開催)

ア リーフレット「教育相談の充実に向けて～子どもたち一人一人を大切に育てるために～」の作成に向けて、検討する。

(3) トライやる・ウィーク推進協議会

各構成団体の協力体制についての協議及び事業実施に向けての啓発協力依頼活動を行う。

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(4) 三田市生徒指導等問題対策委員会

三田市で発生したいじめ・暴力行為を含む問題行動事案について検証するとともに、今後の三田市の生徒指導のあり方について協議する。(4回開催)

ア 提言書「審議のまとめ」、「三田市いじめ防止基本方針」に基づく生徒指導の在り方について検証、協議する。

イ 「三田市いじめ防止基本方針」の内容について検討する。

(5) 三田市立学校結核対策委員会

学校における今後の結核対策について、児童生徒への感染防止対策、感染者及び発病者の早期発見、早期治療対策、患者発生時の対応等を図る。(1回開催)

5 学校保健に関すること

(単位：名)

検診名等	対象者等	実施人員	実施機関
就学時健康診断	小学1年生入学予定の幼児	935	学校医
心臓検診	小・中・特別支援学校1年生 (心電図)	1, 935	三田市医師会
心臓検診	二次検診	122	指定の病院
内科検診 (脊柱検査含む)	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8, 975	学校医
結核検診	小・中・特別支援学校児童生徒 全員(問診票)	8, 975	学校医
	特別支援学校高等部1年生(エ ックス線撮影)	0	指定の病院
	二次検診	7	
歯科検診 (年2回)	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8, 975	学校歯科医
尿検査	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8, 934	検査機関
	二次検診	217	
眼科検診	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8, 975	学校医
耳鼻咽喉科検診	小・中・特別支援学校(小学 1・3・5年生、中学1年生、 高等部1年生)	4, 013	学校医
整形外科検診	特別支援学校全員	17	学校医

6 PTA連合会研修に関すること

(1) 事業名 PTA合同研修会、PTA実践発表会

(2) 各講座内容・参加人数等

ア 広報紙講座 オンライン

イ 人権講演会 オンライン

ウ P T A 実践発表会 広報紙「つどい」での紙上発表に変更

7 市立学校児童・生徒数（令和4年3月31日現在）

(1) 小学校

（単位：名）

学 校 名	学級数	児 童 数		計
		男	女	
三田小学校	28	347	351	698
三輪小学校	15	164	192	356
志手原小学校	6	30	19	49
藍小学校	8	46	31	77
本庄小学校	7	22	30	52
広野小学校	11	103	103	206
小野小学校	6	17	25	42
高平小学校	7	56	52	108
母子小学校	3	9	3	12
武庫小学校	22	283	262	545
松が丘小学校	8	54	55	109
すずかけ台小学校	16	204	201	405
狭間小学校	11	109	98	207
富士小学校	14	198	160	358
あかしあ台小学校	22	294	236	530
弥生小学校	7	71	66	137
つつじが丘小学校	9	96	96	192
けやき台小学校	28	407	398	805
学園小学校	11	111	96	207
ゆりのき台小学校	36	531	544	1075
計20校	275	3,152	3,018	6,170

(2) 中学校

（単位：名）

学 校 名	学級数	生 徒 数		計
		男	女	
長坂中学校	6	71	46	117
上野台中学校	7	64	48	112
狭間中学校	14	173	189	362
八景中学校	19	270	277	547
けやき台中学校	17	281	286	567
富士中学校	10	147	108	255
藍中学校	7	90	70	160
ゆりのき台中学校	20	360	311	671
計8校	100	1,456	1,335	2,791

(3) 特別支援学校

(単位：名)

学 校 名		学級数	児童生徒数		計
			男	女	
ひまわり 特別支援学校	小学部	4	7	4	11
	中学部	2	3	1	4
	高等部	2	1	1	2
計 1 校		8	11	6	17

教育支援課

1 特別支援教育の推進に関すること

LD・ADHD等発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する指導や支援体制づくり等、より一層の特別支援教育の充実を図る。

(1) 相談事業

- ア 来所型教育相談（電話相談）（面接相談）（外部専門員相談）（療法士相談） 212件
- イ 訪問型教育相談（巡回相談）（校内委員会訪問支援） 90件
- ウ 就学相談 112件

(2) 教育支援事業

- ア 特別支援アシスタント配置：3532.5時間
- イ 学校生活支援教員配置：小学校拠点5校・巡回12校、中学校拠点2校・巡回6校

(3) 交流体験チャレンジ事業

- 小学部：3月2日・7日 於：ひまわり特別支援学校
：11月2日 於：淡路サービスエリア 淡路島夢舞台 グランド
ニッコー淡路
- 中学部：10月7日 於：うずしお観潮船 大塚国際美術館
- 高等部：3月7日 於：三田市役所「キッピー食堂」

(4) サポートファイル活用推進

計532名

(5) その他

特別支援教育推進にかかる学校訪問、コーディネーター等ネットワーク会議、教育相談支援チーム連絡会他

2 特別支援教育にかかる教職員の指導・助言に関すること

(1) 資質向上事業

特別支援教育に関して、本市の実態に応じた実践を進めるため研修機会を提供し、教職員の資質向上を図る。

ア 研修等

研修・講座名	年間実施回数	のべ参加者数
特別支援教育研修講座 基礎研修講座	2回	55名
特別支援教育研修講座 選択課題別研修講座	1回	26名
特別支援教育研修講座 授業・保育実践研修講座及び教育相談実地研修講座	1回	3名
特別支援教育研修講座 コーディネーター研修講座	2回	43名
特別支援教育研修講座 コンサルテーション研修講座	2回	31名
特別支援教育支援員研修会	5回	135名

(2) 研修事業補助

ア 小学校

特別支援教育研修会
 イ 中学校
 特別支援教育研究会

3 遠距離通学費補助

三田市立小学校及び中学校の児童生徒等について、通学が著しく困難である者に対して通学費を補助し、学校教育の円滑な運営と保護者負担の軽減を図る。

区 分		校数	人数	補助金額	備考
通学定期代	小学校	5校	145名	4,941,480円	
	中学校	2校	83名	9,219,710円	
通学用品費	小学校	2校	4名	19,618円	上限5,000円
	中学校	3校	70名	660,303円	上限10,000円
合 計		12校	302名	14,841,111円	

4 就学援助費及び就学奨励費

義務教育の円滑な実施を図るため、経済的な理由によって就学困難な児童及び生徒に対して、就学援助費を支給する。また、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援教育就学奨励費を支給する。

区 分		児童生徒数	保護者への支給額
就学援助費	小学校	449名	28,012,834円
	中学校	240名	21,644,464円
計		689名	49,657,298円

人数：3月末認定者数

区 分		児童生徒数	保護者への支給額
就学援助費 (入学準備金)	小学校	27名	1,378,620円
	中学校	50名	3,000,000円
計		77名	4,378,620円

区 分		児童生徒数	保護者への支給額
特別支援教育 就学奨励費	小学校	113名	3,550,846円
	中学校	45名	2,025,352円
計		158名	5,576,198円

5 高等学校等入学支援金

高等学校等への入学に伴う費用の一部を支給することにより、経済的理由のため就学が困難であると認められる者の自立と進学を促進するため、高等学校等入学支援金（給付型・返還不要）を支給する。

区 分	生徒数	保護者への支給額
高等学校等入学支援金	38名	2,401,600円

※ 三田市奨学金（貸付型・返還要）は平成29年度で貸付終了

6 特別支援学校児童生徒送迎業務

特別支援学校に通学する児童生徒を各乗降場所と学校間に公用車（ともだち号）を使用し送迎する。

- (1) 運行方法 委託業務（昭和61年度から）
- (2) 委託費 13,806,015円
- (3) 運行台数 5台
- (4) 乗車人員 12名

7 附属機関に関すること

(1) 教育支援委員会

心身に障害を有する児童生徒に対して、適正な就学指導を行う。（10回開催）

教育研修所

1 教職員の指導・助言に関すること

(1) 資質向上事業

学校教育において、本市の実態に応じた実践を進めるため研修機会を提供し教職員の資質向上を図る。

ア 研修等

研修・講座名	年間実施回数	のべ参加者数
初任者研修校外研修（設置者別研修）	3回	41名
教職員全体研修会	1回	650名
非常時のタブレット活用研修	1回	650名
個人情報にかかる研修会	1回	650名
ミライシード導入研修（先行実施校）	1回	100名
校園長・教育委員研修会	1回	42名
教頭研修会	1回	29名
主幹教諭研修会	1回	56名
教務主任研修会	1回	29名
2年次教員研修に係る共通研修	1回	15名
3年次教員研修に係る共通研修	1回	10名
若手臨時的任用教員研修会	1回	32名
拠点校指導員研修会及び連絡会	4回	21名
学校司書研修会	4回	42名
小学校英語専科教員研修会及び連絡会	4回	19名
ALT・小学校外国語活動サポーター研修会	1回	13名
学校事務職員研修会	1回	32名
学校指導員研修会	2回	22名
研究推進担当教員研修会	1回	32名
「三田の英語教育」研修会	3回	84名
小学校外国語教育推進リーダー研修会（小学校担当者会）	2回	20名
道徳教育研修会	1回	34名
ミライシード導入研修	2回	200名
えがお研修会	1回	34名
プログラミング研修会	2回	29名
教育研究グループ研究交流会	1回	34名
授業づくり講座	7回	152名
特別講座	1回	27名
iPad 初級研修会	2回	27名
学校経営いろは	10回	99名
	総参加者数	3225名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応により中止となった研修

(ア) 学校体育実技武道（柔道）研修会

(イ) 平成22・25・28年度応急手当普及員受講者再講習会

(ウ) 自主研修講座 「STEP」

イ 三田市立学校指導員派遣事業

指導員（小・特別支援学校）：11名 派遣回数：22回

(2) 指定研究の推進

テーマに基づいた研究の活性化を図るための指導・支援

ア 奨励・・・小学校9校、中学校5校 計14校

「対話力を高め、仲間とつながり合える三輪っ子の育成」	三輪小学校
「みんなが『できる』『わかる』授業をめざして」	藍小学校
「主体的に学ぶ児童の育成」	本庄小学校
「主体的に学習に取り組み、自分の考えを表現できる子の育成」	小野小学校
「自ら考え、共に高まり合える子どもへ」	武庫小学校
「問いをつなぎ主体的に学ぶ子どもをめざして」	松が丘小学校
「気づき合い、認め合い、つながり合おうとする子どもをめざして」	富士小学校
「人と豊かに関わり、なりたい自分に向けて努力する児童の育成」	あかしあ台小学校
「“タイ”が生まれる楽しい授業」	つつじが丘小学校
「夢の実現に向けて、自ら考え、行動するこころ豊かな生徒の育成」	長坂中学校
「主体的・対話的で深い学びを意図した授業デザインに関する研究」	上野台中学校
「生徒が主体的に取り組む学習指導」	八景中学校
「これからの時代に求められる資質・能力の育成」	けやき台中学校
「特別支援教育の視点を活かした、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業作り」	富士中学校

イ 指定・・・小学校7校、特別支援学校1校

「読み深め ともに学び合う子どもたちの育成」	広野小学校
「人とつながり、よりよい自己をめざす高平っ子」	高平小学校
「子どもの深い学びを支えるつなぐ力の育成」	母子小学校
「伝え合い、高め合いながら、学ぶ力を身につけていく子をめざして」	すずかけ台小学校
「仲間と関わり合いながら、よりよく生きようとする子」	弥生小学校
「学びに向かう力を育てる」	けやき台小学校
「人とつながり、主体的に学ぼうとする子どもの育成」	学園小学校
「1人1人の豊かな生活をめざした授業づくり」	ひまわり特別支援学校

ウ 特別指定・・・小学校4校、中学校1校

「豊かな人間性を育む道德教育の推進」	三田小学校
「ICTを活用した授業づくり～仲間とのつながりを大切に、学びを深めていく姿をめざして」	志手原小学校
「主体的に楽しみながら外国語を学び合い、自分の思いや考えを豊かに表現できる子どもの育成」	狭間小学校
「人とつながり、課題解決に向かう子どもをめざして」	ゆりのき台小学校
「未来を創造し、心豊かに『生きる力』を育む『情報』教育」	ゆりのき台中学校

(3) 研修事業補助

ア 小学校

教員共同研究担当者会

イ 中学校

教科部会研究

2 教育内容に関すること

(1) 自然学校推進事業

様々な体験活動を通して、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に対する畏敬の念、感動する心、共に生きる心を育むなど、「生きる力」を育成することを目的とする。

実施校名	実施日	実施場所
三田小学校	11/ 6・11/29	丹波少年自然の家 南但馬自然学校 嬉野台生涯教育センター 竹野子ども体験村 円山川公苑 他
三輪小学校	10/28・11/10	
志手原・小野・母子小学校	10/18・11/10	
藍小学校	10/14・10/15	
本庄小学校	10/14・11/ 8	
広野小学校	10/25・10/29	
高平小学校	10/13・10/14	
武庫小学校	11/ 9・11/19	
松が丘小学校	10/22・10/28	
すずかけ台小学校	10/26・10/27	
狭間小学校	11/11・11/15	
富士小学校	10/25・11/22	
あかしあ台小学校	10/10・10/11	
弥生小学校	10/18・10/22	
つつじが丘小学校	10/31・11/ 1	
けやき台小学校	11/ 7・11/ 8	
学園小学校	10/ 5・10/ 6	
ゆりのき台小学校	10/26・10/30	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各校1日活動を2日間実施。

(2) 英語教育推進事業

小中学校9年間、就学前から11年間を見通した「三田の英語教育」を進め、小学校外国語活動・外国語(英語)、中学校英語教育において外国人英語指導助手(A L T)を起用し、児童生徒のコミュニケーション能力の素地及び基礎を養う。

ア A L T (4名) 1回あたり勤務時間7.25時間

年間延べ日数746日

イ J E TプログラムA L T (2名) 1回あたり勤務時間7時間

年間延べ日数 394日

ウ 外国語活動サポーター(12名) 1日最大6時間まで

年間総配置時数 1,465時間

(3) I C T教育推進事業

三田市立小・中・特別支援学校における情報教育の推進のため、学校のI C T環境を整備する。

ア 全児童生徒、授業を行う教員にタブレット端末(9625台)を配布し、活用を開始した。また、市内9校でローカルブレイクアウト工事を行い通信環境が安定した。

- イ 中学校 8 校に指導者用デジタル教科書（英語、地理・公民、音楽、美術、技術家庭、保健体育）を整備し、小学校 20 校に英語のデジタル教材を整備した。また、それらを教員用タブレット端末からも活用できるようにした。
- ウ G I G A スクール構想に関する研修やタブレット端末の活用方法についてビデオ会議ツールを活用したオンライン研修や、動画配信によるオンデマンド型の研修を行い、教員の I C T 機器の授業への活用を推進した。
- エ 総合学習アプリを導入し、個別最適な学び、協働的な学びを実現する新しいデジタルを活用した教育を推進した。

(4) 友好都市交流事業

友好都市である鳥羽市との交流を通じて互いの市の様子について理解を深めるとともに、友好の精神を育む。（母子小学校と神島小学校による交流）

※令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のためオンラインによる交流を実施。

3 附属機関に関すること

(1) 三田市教科用図書選定委員会

三田市立の小学校・中学校及び特別支援学校小・中学部の教科用図書の採択に関する事務を行う。（2 回開催）

学校給食課（学校給食センター）

1 主な事務事業

- (1) 学校給食用物資の購入計画及び契約
学校給食用物資納入業者を選定し、月毎又は学期毎に価格、サンプル、原材料配合表などを検討し物資を選定して売買契約を行う。
- (2) 学校給食の栄養管理及び献立の作成
栄養所要量と食品構成表に基づくバランスのとれた、魅力ある献立を作成する。
- (3) 学校給食用物資の発注及び検収
市内2給食センターにて物資を発注するとともに、納品された物資の品質、鮮度、品温等について検収し、衛生状況の確認を行う。
- (4) 副食の調理及び配送
各給食センターで副食を調理し、市立幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校及び兵庫県立特別支援学校 計40校園へ配送する。
- (5) 食器食缶等の洗浄消毒及び保管
食器食缶、調理器具等を衛生的に洗浄、消毒殺菌し保管する。
- (6) 学校給食における衛生管理
給食センターの衛生管理及び学校園における衛生管理指導を徹底する。
- (7) 学校給食に関する指導助言
学校園における給食指導、給食運営に関する指導助言を行う。
- (8) 学校給食費会計の経理
児童生徒、教職員からの給食費の収納と物資代金の支払いを行う。
- (9) 学校給食運営協議会
保護者及び学校長代表の委員9名以内で組織し、学校給食に関する重要事項の審議及び給食物資の選定を行う。協議会を年間2回程度、物資選定を11回開催する。
- (10) 給食センターの管理運営
給食センター施設及び設備の維持管理、運営を行う。

2 実施状況（令和3年5月1日現在）

- (1) 週5日間（うち、米飯給食週4回）完全給食を給食センターにおいて実施している。

区分	校園数 (校園)	給食数 (食)	年間規定 給食回数 (回)	1食当たり 給食費 (円)	月額 給食費 (円)
小学校 (ひまわり特別支援学校小学部含む)	21	※ 6,805	180	238	3,900
中学校 (ひまわり特別支援学校中学部・高等部含む)	9	3,053	180	275	4,500
幼稚園	10	300	140	210	2,940
兵庫県立上野ヶ原特別支援学校	1	108	180	275	4,500
計	※ 40	10,266			

※ ひまわり特別支援学校は1校として計上する

※ 小学校食数には、給食センター食数を含む（校園数には含まない）

3 給食調理施設（令和3年5月1日現在）

センター名	面積（㎡）		構造	調理能力	給食開始	備考
	敷地	建物				
ゆりのき台 給食センター	10,660.40	1,667.00	鉄筋 コンクリート	8,000食 （日）	H. 2. 9	
清水山 給食センター	6,510.00	1,328.00	鉄筋 コンクリート	4,000食 （日）	H. 5. 9	

4 給食配送校（令和3年5月1日現在）

センター名	区分	学 校 ・ 園
清水山 給食センター 18校園	小学校	三田・三輪・志手原・小野・高平・母子・松が丘
	中学校	上野台・八景・けやき台
	幼稚園	三田・三輪・志手原・小野・母子・松が丘・高平
	県立特別支援学校	上野ヶ原
ゆりのき台 給食センター 22校園	小学校	藍・本庄・広野・武庫・すずかけ台・狭間・富士・あかしあ台・弥生・つつじが丘・けやき台・学園・ゆりのき台
	中学校	長坂・狭間・富士・藍・ゆりのき台
	幼稚園	広野・本庄・藍
	特別支援学校	ひまわり

5 学校給食費の公会計化（平成24年4月～）

平成24年4月から三田市学校給食費に関する条例を施行。これにより、学校を介さず、園児、児童や生徒の保護者などの納入者から、直接市に学校給食費を納入する公会計化を行なった。条例及び規則の制定により、給食費の債権者・債務者を明確化するとともに、給食費の額、納期限、減免等についても条文化し、透明性、利便性を確保した給食費会計を進めている。

6 令和3年度 “食べチャオさんだ！”食育推進事業

子どもたちに食事の大切さ、喜び、楽しさを知らせ、心身の成長や健康の保持増進を図るとともに、食に関する正しい知識と望ましい食習慣の形成につなげるよう、学校・家庭・地域と連携しながら、三田市の食育を推進。

	事業項目	目的	内容	実施状況等
学校給食	1 給食時間の指導 (こんしゅうのこんだて)	給食を「生きた教材」として活用し、望ましい食習慣を身に付けるとともに食について興味関心を持たせる。	給食センター発行の資料「こんしゅうのこんだて」を提供し、給食時間に活用する。QRコードを利用し、当日の献立や調理中の様子を動画で紹介。	市立幼小中学校の各クラス対象 年間180回以上
	2 学校・園で育てた野菜の提供	学校・園の菜園で育てた野菜を給食に取り入れ、収穫の喜びやおいしさを共に味わい感謝の心を育てる。	6月:玉ねぎ(オニオンスープ、ワタンスープ、新玉と新じゃがの旨煮、チキンカレー) 7月:玉ねぎ(スパゲティナポリタン、新玉と新じゃがの旨煮) じゃがいも(新玉と新じゃがの旨煮、ポテトサラダ) 人参(ポテトサラダ) にんにく(マーボー豆腐) きゅうり(きゅうりとツナのサラダ、ポテトサラダ) 11月:さつまいも(根菜カレー、いもりんごフリッター) 青ねぎ(わかめスープ) 2月:大根(すまし汁)	
募集	3 絵手紙コンクール (9年目)	自然豊かな三田の食材を味わう喜びや楽しさと生産者への感謝の気持ちを絵と言葉で伝える絵手紙を募集する。	(応募) 1535 作品 (幼 49 小 1051 中 435) (審査) 令和3年11月8日(月) (入賞) 最優秀賞2点 優秀賞5点 入選8点 佳作10点 ※作品展示にて展示 ※給食だよりにて入賞作品紹介	
食育啓発	4 給食配送車のラッピング		記念品贈呈式 (開催) 令和4年3月25日(金) (場所) 三田市ゆりのき台給食センター ※受賞者2名にラッピングトラックを披露	
	5 食育に関する作品展示	三田の学校給食の魅力や食育の大切さについて、広く市民に啓発する。	(開催) 令和3年12月15日(水)～26日(日) (内容) 学校・園の食育活動及び園児児童生徒の作品、 絵手紙コンクール応募作品の展示、 三田の学校給食「今・昔」	
	6 三田の食育・学校給食展 (8年目)	三田の学校給食と食育について理解を深め、興味関心を高めるために開催する。		

※新型コロナウイルスの影響により、食育フェアや給食センター見学会などの集客イベントは中止。